



# 新版 K 式

新版 K 式発達検査

## 新版 K 式の特徴

精神発達の様々な側面にわたって全般的な進みや遅れ、バランスの崩れなどを調べ、療育に役立てる。

検査問題は「姿勢 - 運動領域」「認知 - 適応領域」「言語 - 社会領域」の三領域に大別される。

日本(京都市)で作られた発達検査。

検査用具・検査問題の多くは子どもにとって遊びと感じられるもので構成されており、子どもの自発的で自然な行動が観察しやすい。

所要時間: 約30分